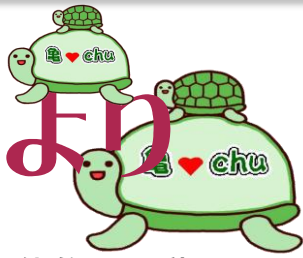


令和8年6月3日発行



亀戸中だより



亀戸中ホームページ
クリック



本校教育目標 「思いやりの心を持ち、主体的に行動できる人間を育成する」
「探究」「敬愛」「挑戦」

亀戸中学校 学校だより(運動会特別号) 「史上最高」の感動をありがとう！～主役達が輝いた日～

校長 三浦 秀樹

近隣の皆様、保護者の皆様、先日は本校の運動会を温かく見守ってくださり、心より御礼申し上げます。早朝からの音響や歓声への深いご理解、そして会場を包み込んだ皆様の惜しみない拍手があったからこそ、子ども達は大舞台上で最高の輝きを放つことができました。

今年の運動会は、生徒会スローガン「水滴石穿(すいてきせきせん)」の通り、生徒達が日々地道に積み重ねてきた努力の汗と涙が、大きな感動となって花開いた、一生の記憶に残る一日となりました。

開会式の「学校の主役は誰ですか」という問いに、生徒達は見事に行動で応えてくれました。グラウンドを全力で駆け抜け、泥だらけになって勝利を目指す姿はもちろん、得点には表れない係活動や準備、片付けに取り組む姿には、確かな「主体性」が溢れていました。

何より私たちの胸を熱くさせたのは、生徒達の「誰かのために全力になれる優しさと強さ」でした。自分のレースが終わってもなお、ゴールを目指して走る仲間へ向けて、喉が枯れるほどの声援を送り続ける姿。悔し涙を流す友の肩を抱き寄せ、「がんばったね」と称え合う姿。クラスの枠を超えてすべての仲間の健闘を自分のことのように喜び、全力で「思いやりの応援」を届ける生徒達の純粋な姿が見られたとき、会場は温かい一体感に包まれました。自分のためだけでなく、仲間のために心を燃やすことができる。これほどまでに美しく、頼もしい姿はありません。

「失敗と書いて、成長と読む」チャレンジの裏にあった悔し涙や小さな失敗を、仲間と手を携えて笑顔に変え、乗り越えた経験は、生徒達を一回りも二回りも大きく成長させてくれました。そのひたむきな姿は、私たちの大きな誇りです。

素直で明るく、無限の可能性を秘めた亀戸中の生徒達。今回見せてくれた、誰かを思いやり、誰かのために全力で行動できる強い絆と優しい心は、将来必ず地域社会を優しく照らす大きな光になると確信しています。

今回の「史上最高の運動会」という感動を糧に、今後も生徒一人一人が主役として輝ける学校づくりに邁進してまいります。どうぞ、これからも子ども達の未来にご期待いただき、温かい応援をお願い申し上げます。

